

自転車乗用中のヘルメット着用について

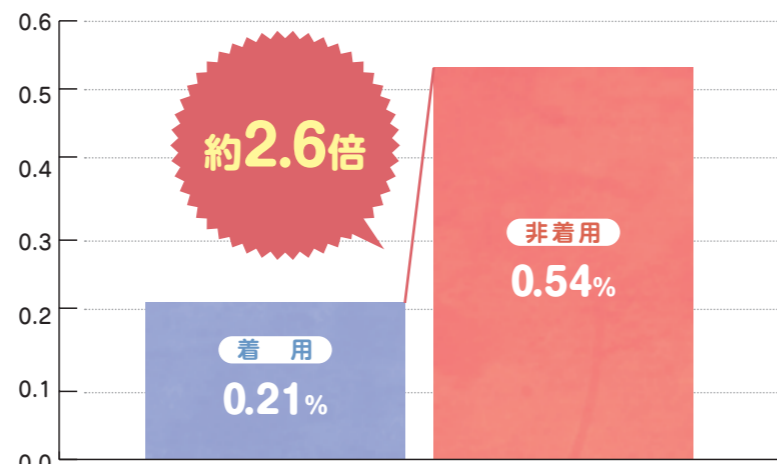


令和5年4月1日より道路交通法の一部改正により、全ての自転車利用者に対してヘルメットの着用が努力義務化されました。

警察庁によると、ヘルメットを着用しない場合は、事故時の死亡リスクが約2.6倍高まるとされています。ヘルメットを正しく着用し、自転車を安全に利用しましょう。



ヘルメット着用状況別の致死率*比較(令和4年)



頭部の保護が重要!!

～自転車とヘルメットはワンセット～

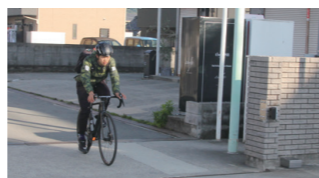
令和4年度における和歌山県内での学校事故に関する報告は、全体で101件あり、その内、自転車に関連する事故報告は63件と全体の約62%となっています。

また、交通事故が多い時間帯で見ると、そのほとんどが登下校中に起こっています。中には、頭部を損傷する重大な被害につながる事故も発生しています。自転車を利用する時は、頭部を守るためにヘルメットを着用しましょう。

和歌山北高等学校(北校舎)登校時の様子

登下校時にヘルメットを積極的に着用している和歌山北高等学校自転車部の部員さんに取材しました!!

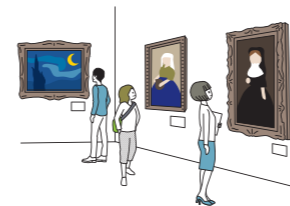
もし、事故をした時に頭部を守ってくれるヘルメットはととても大事です。事故をした経験があるのでヘルメットの大切さがよく分かりました。ヘルメットをかぶっていると安心感があるので登下校時は着用するようにしています。



いろいろあるよ、ヘルメット



警察庁リーフレット参照



展示・イベント

いずれも休館日は月曜日(祝日の場合は翌平日)です。

※県立近代美術館・県立博物館・県立紀伊風土記の丘・県立自然博物館は有料ですが、高校生以下・65歳以上・障害者の方は無料です。詳しくは各館ホームページをご覧ください。

本県には、美術作品や文化財などの「和歌山の宝」がたくさんあり、これらを直に鑑賞できる場・機会を増やすため、県立博物館施設(近代美術館、博物館、紀伊風土記の丘、自然博物館)では様々な企画展覧会を開催しています。特に高校生までの児童生徒については、入館を無料にしていますので、友達同士や家族連れで、ぜひお越しください。

学校の教育活動における博物館施設のご利用もご検討ください!

遠足や社会見学の他、校外学習や総合学習、クラブ活動など、様々なシチュエーションで博物館施設の活用が可能です。学芸員の解説や質疑応答などもあり、より深い学習効果が期待できます。博物館施設から遠方地域の学校へは、学芸員の出前授業なども行っていますので、学校での県立博物館施設利用をご検討の際は、ぜひ一度各館へご連絡ください。



県立近代美術館

和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8690

企画展 **なつやすみの美術館13** feat. 橋本知成

開催期間 7月11日(火)～9月10日(日)

だれもが気軽に美術館を訪れ、美術の楽しみ方を体験できる展覧会の13回目。今回は、和歌山県湯浅町出身の橋本知成(1990～)さんをゲストに迎え、展覧会を構成します。



橋本知成《Untitled》2021年(個人蔵)撮影:Gentoku Katakura

常設展 **コレクション展 2023-春夏**

特集:美術と音楽の出会い

開催期間 5月20日(土)～7月30日(日)

和歌山ゆかりの近現代美術を紹介するとともに、特集ではシェーンベルクの音楽に感化を受けて先駆的な抽象絵画を発表したカンディンスキーをはじめ、近代以降の美術と音楽に関わる作品をご覧ください。



ワシリー・カンディンスキー《抒情的(「響き」より)》1911年(和歌山県立近代美術館蔵)

県立博物館

和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8670

夏休み子供向け企画展

きのくにのかたな

—和歌山県立博物館の赤羽刀—

開催期間 7月1日(土)～8月27日(日)

今、人気の日本刀は、敵をたおす武器としてだけでなく、美しさをそなえた美術品としても、大切にされてきました。この企画展では、日本が太平洋戦争に敗れた時、占領軍に没収された「赤羽刀」約5600本のうち、54年後に県立博物館へ移された43本すべてを、初めて展示します。きのくに—和歌山県で江戸時代に作られていた日本刀を中心に、その魅力と見方を紹介します。



刀 銘「陸奥守橋為康」(和歌山県立博物館蔵)

県立紀伊風土記の丘

和歌山市岩橋1411 ☎073-471-6123

夏休み企画

ジュニア学芸員養成講座

開催期間 7月28日(金) 9:30～15:30

考古学・民俗学に興味のある小中学生を対象に、紀伊風土記の丘の仕事体験を通じて、将来、学芸員や研究者をめざす子供たちの養成講座を行います。



ジュニア学芸員による作品展示

関連企画 **チャレンジ!ジュニア学芸員**

募集期間 11月14日(火)まで

社会科歴史分野に関する小中学生の自由研究(個人・団体)、及び総合的な学習等で作成した作品を募集し、館内で展示及び表彰式・研究発表会を実施します。

県立自然博物館

海南市船尾370-1 ☎073-483-1777

令和5年度 特別展

進め!けものみち探検隊

開催期間 7月15日(土)～9月3日(日)

開催場所 自然博物館レクチャールーム



今年の特別展のテーマは哺乳類!和歌山の陸上に住むけものたちを紹介します。イヌやネコなどのペット以外の野生哺乳類はなかなか近くで観察することができません。特別展では、痕跡の見つけ方や観察の仕方など、哺乳類たちの世界を探検する方法を紹介します。

さあ!君もけものみち探検隊員になって、新たな発見を探しに行こう!